

佐世保市学校給食会は、教育委員会（学校・学校給食センター）と連携して地産地消を推進していますが、青果物については会議を設置しており、今般その会議を開催しました。

開催日時 平成 30 年 12 月 18 日（火）
場 所 佐世保市学校給食青果物納入事業協
構 成 ながさき西海農業協、佐世保青果協
佐世保市学校給食納入事業協
市教育委員会（コーディネーター）、
市農林水産部（アドバイザー）

主 催 者 学校給食会

議 題 地産地消の推進について

本協議会の目的は青果物の地産地消の推進ですが、具体的な項目として、「献立に地場産品を取り入れること」と「佐世保青果市場にできるだけ多くの地場産品の入荷を図ること」を定めており、「情報共有」と「関係者の協力」を本協議会の目標としています。

本会から前回質問があった「使用率の減少傾向の要因」については、「キャベツ、大根などの重量野菜の減少が主な要因ではないか」との説明を行いました。

その後、活発な意見交換が行われ、教育委員会から「キャベツや大根などの重量野菜の使用が増えれば地産地消の使用率も上がるので、是非、重量野菜の生産や供給量の増加に向けて、対策をお願いしたい」との要望があり、佐世保青果協から「JA と一緒にキャベツ、なすなど各産地に出向いて話をし、お願いすることが必要であり、成果がでるよう関係者が一緒になってやっていくことが大事と思う」との意見が出されました。

会議の様子

